



ルリビタキ (雄) (ヒタキ科)



ホオジロ (ホオジロ科)
アリマグミ①のこすえで良く通る声でさえずっといました。



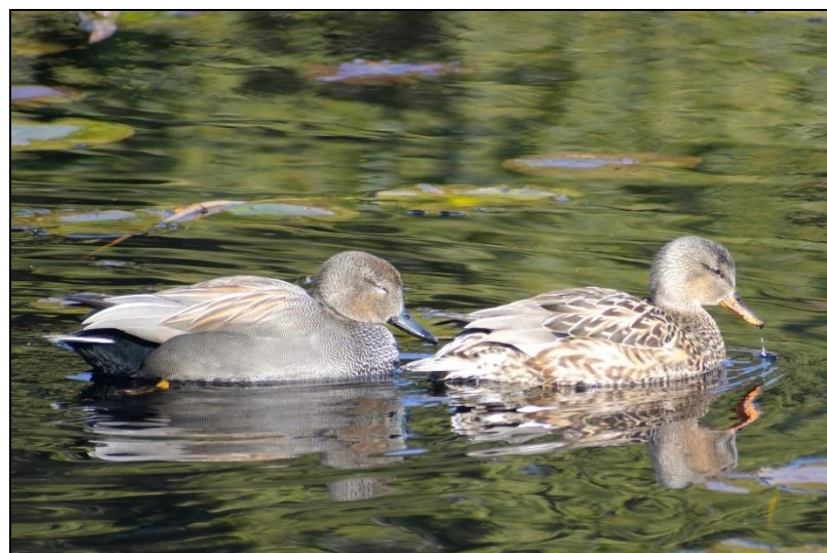
コガモ (雄) (カモ科)
上池、下池などの池以外に小さな水たまりや流れにもよくいます。



ジョウビタキ (雄) (ヒタキ科)



ジョウビタキ (雌) (ヒタキ科)



オカヨシガモの雄と雌 (カモ科)

三木山でよく見られるヨシガモ、コガモなどでは、瞬膜しゅんまくと呼ばれる膜が目を覆い、「白目」状態になって昼寝をしているのを見かけます。

しかし、オカヨシガモでは、瞬膜しゅんまくが目立たないのか、写真のように眠そうな雰囲気を醸し出していることが多いです。

明るい林が好きで愛想が良くどんどん人前に出てくるジョウビタキに比べると、ルリビタキは暗い林が好きでなかなか人前に現れてくれません。どちらも冬の人気者ですが、最近ルリビタキの出現が少なくなった気がします。



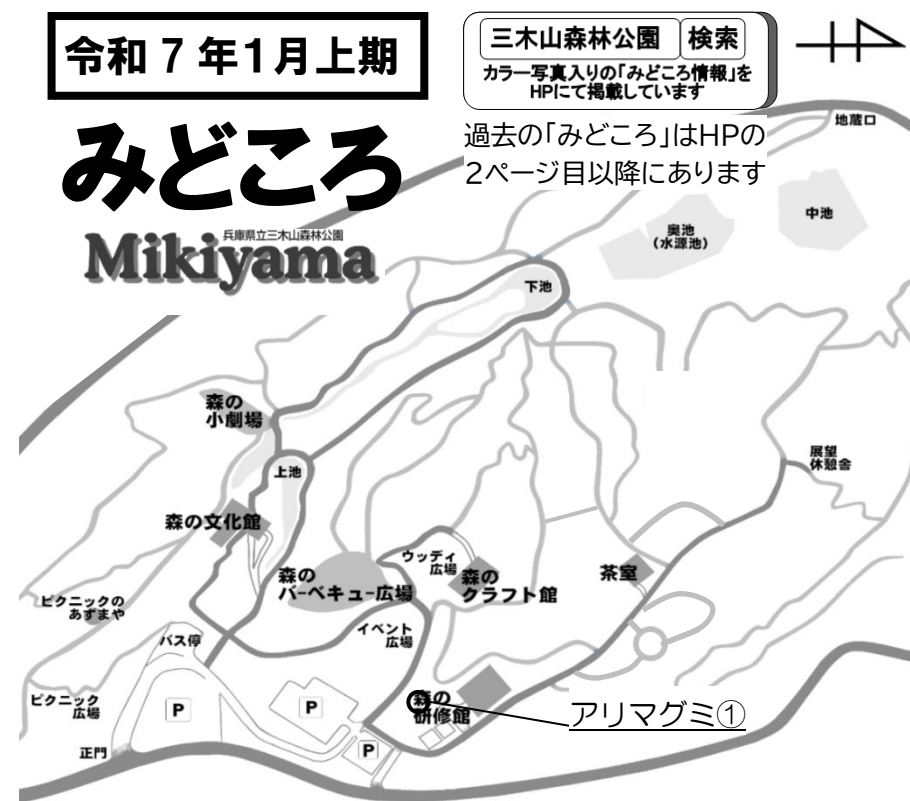
門松 (森の文化館)



しめ縄 (森の研修館)

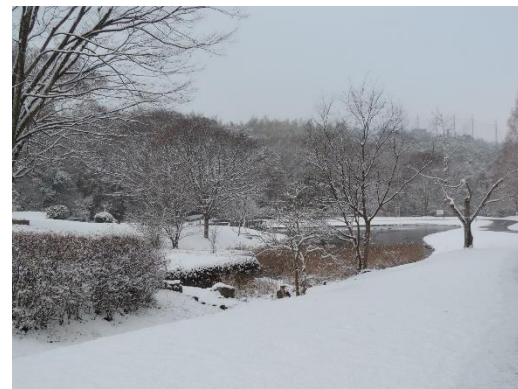
三木山森林公園で作った「門松」と「しめ縄」です。

みどころ情報の写真をはっきりとご覧いただくため、ご紹介する写真の枚数を減らしていますのでご了承ください。



雪の中を飛び回っているハクセキレイ

三木山でも地面が見えなくなるくらい、雪が積もりました。



雪が積もった上池周辺